

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名 ソフトピアジャパンセンター等施設管理運営費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3724)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 382,992 千円 (前年度予算額： 365,953 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	365,953	0	0	9,057	0	0	0	0	356,896
要求額	382,992	0	0	10,578	0	0	0	0	372,414
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ソフトピアジャパン センタービル、アネックス、ドリーム・コア及びワークショップ 24 (情報産業施設) の県有 4 施設について、施設管理及び運営を効率的に行うため、指定管理者制度を導入し、指定管理者による施設の維持管理、運営を実施する。

(2) 事業内容

- 指定管理期間
令和 7 年 4 月 1 日～令和 12 年 3 月 31 日 (5 年間)
- 指定管理業務
 - ①施設の維持管理業務(警備、清掃、設備点検及び受付案内等)
 - ②施設の使用許可(技術開発室、インキュベートルーム、会議室及びホール等)
 - ③施設の入退去管理(技術開発室及びインキュベートルーム)
 - ④利用料金等の収受
 - ⑤施設の PR 及びイベントの企画 等

（３）県負担・補助率の考え方

指定管理業務の実施にあたり、利用料金等の収入だけでは管理・運営に係る経費が賄われないため、県負担による指定管理料が必要となる。

３ 事業費の積算 内訳

支出

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	84	評価員会議開催事務費（評価員報償費）
旅費	46	評価員会議開催事務費（費用弁償）
委託料	376,680	指定管理料（情報産業施設）：375,272千円 産業廃棄物収集・運搬費：1,408千円
使用料及び賃借料	6,182	評価員会議開催事務費（会議室使用料）：13千円 土地賃借料（情報産業施設）：6,169千円
合計	382,992	

※R8年度よりソフトピアジャパンビル運営支援システム改修業務を指定管理業務に移管（指定管理料の上限額協議を並行して実施中）

- ・ 変更後指定管理料（想定） 債務負担設定額：1,819,000千円
（R7年度：358,739千円＋R8年度：375,272千円＋R9～R11年度：361,454千円／年＝1,818,373千円）
- ・ 現行指定管理料 債務負担設定額：1,794,000千円
（358,739千円／年×5年〔R7～R11年度〕＝1,793,695千円）

収入

項目	金額（千円）	備考
行政財産目的外使用料収入（見込み）	10,578	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

＜岐阜県経済・雇用再生戦略＞

２「D X」・「G X」推進加速化プロジェクト

＜新たなビジネスモデルの創出支援＞

（１）ソフトピアジャパン・テクノプラザの機能拡充・連携強化

○ I T企業の集積拠点である「ソフトピアジャパン」と、産業のデジタル化や新産業創出を目指すものづくりの総合拠点である「テクノプラザ」との連携を強化し、新たなビジネスモデルの創出に向けそれぞれの強みを生かした総合的な支援を推進する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ソフトピアジャパン センタービル（CB）、アネックス（AN）、ドリーム・コア（DC）及びワークショップ24（WS24）（情報産業施設）の県有4施設について、指定管理者による管理運営を行い、ソフトピアジャパンエリアの情報産業の振興を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R7年度 目標	R8年度 目標	R9年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
①ソフトピア ジャパンセン ター入居施設入 居率 〔課内指標〕	CB, AN 及びDC 62.7% (H17)	80.0% (R8. 4. 1 時点)	80.0% (R9. 4. 1 時点)	80.0% (R10. 4. 1 時点)	80.0% (R12. 4. 1 時点)	
	WS 2 4 54.1% (H25. 3)	入居施設入居率80%維持を目標				

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<div></div> <p>指標① 目標：80.0% 実績：____% 達成率：____%</p>
令和5年度	<div></div> <p>指標① 目標：80.0% 実績：____% 達成率：____%</p>
令和6年度	<div></div> <p>指標① 目標：80.0% 実績：____% 達成率：____%</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

人件費や原材料費の高騰、施設老朽化に伴う修繕費等が増加しており、より効率的な施設運営が求められる。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

指定管理者による施設稼働率の向上や経費削減に係る取組みについて、県として適切な事業評価を行い、より効率的な施設運営の達成を目指す。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】